

みやぎ 総合

NEWSmart 河北新報社
iPhone サービス開始
350円/月
App Storeで「NEWSmart」アプリをダウンロード。
App Storeから河北新報社をダウンロード。
NEWSmartはニュースのショッピングモールです。

きょうの天気
あさ ひる よる 確率 最高気温
0 9
20 8
0 9
気温
仙 台 0
白 石 20
角 田 0
気温
＜風＞東部は西やや強い。西部は西。＜波＞1.5

仙台-岩沼再開見合わせ

JR東北線 沿線ビルに危険箇所

JR東日本は2日、暫くは撤去工事を始めたが、予定ダイヤで運行再開を3日も同区間の運転再開定した。JR東北線岩沼-仙台間の運転再開見合わせ、一部区間をバスの代替輸送に切り替えた。線路脇の建物に危険箇所が見つかったのが原因。JR東日本仙台支社約200名の線路脇にあ

仙台支社は「1日の点検では安全と判断したが、崩落が進み、運転を取りやめた」としている。巨理町の避難所で暮らす両親に会うため、深夜バスで訪れた横浜市の細田明さん(49)は「仙台駅で電車で乗ったが、南仙台駅で降ろされ、タクシー



JR東北線岩沼-仙台間の運転見合わせを受け、南仙台駅に向かう代替バスに列をつくる乗客。2日午前7時25分ごろ、岩沼市の岩沼駅

郷土再興

津波被災 首長に聞く

一関上、下増田地区が津波で大きな被害を受けた。発生直後の救助活動の状況は。

人命救助最優先
「携帯電話など通信手段が途絶え、現場と連絡が取れなかった。幸い、アマチュア無線の中継局をボランティアが市役所に準備していたおかげで、無線連絡ができて大変役立った。救助が最優先。地震当日の3月11日の夕方から現場作業を止めるな、1人でも多くの命を救え、と指示し続けた」

「市内の業者の重機をかき集めて投入したが、燃料の確保に苦労した。ガソリンスタンドや石油元売り会社、内閣府とあらゆる所に連絡を入れ、タンクローリーで確保した。とにかく人命最優先で取り組んできた」

「遺体の搬送も遅れた。遺体が

災害に強い街新たに

佐々木一十郎市長(61)



事業所は借入金返済など資金面で苦しい。中小企業の再興なくして、街の再建はあり得ない。力を注ぎたい。

「被災住民からは、さまざまな切実な要望が出ている。まずは行方不明者を1日も早く捜し出し、家族の元へ帰したい。次に生活再建だ。仮設住宅を多く市内に建設する。被災した商店や

名取市

死者784人
不明1000人

主な被害状況(1日現在) 死者784人、行方不明者約1000人。避難者は16カ所に16998人。ライフラインの復旧率は津波被災地を除いて電気、水道とも99%。

仙台市

福祉避難所を継続

奥山市長「応援態勢整える」

「愛知県の陸上自衛隊師団や各地の自治体の救援を頂いている。多くの救援物資が届き、速くはドローンやモンゴルから義援金が届いた。温かい支援に感謝申し上げたい」

復興に向けて、どんな視点で臨むか。
「新たな都市計画が必要になる。災害に強い新しい街を形成しなくてはならない。そのために住宅などの建設を一時ストップさせることも必要だ。海岸線に近い貞山堀東側の地域は津波被害が甚大だった。今後、人の居住地にしていかがどうか。検討を進めたい」

政府に望むことは。
「国家規模のプロシエクトとして超法規的に対応しないと復興は困難だ。その際、市町村が主導し、国が支える形になるよう配慮すべきだ。国全体で被災地を支えてほしい。被災自治体が一人損になってはならない」

位牌や写真 遺失物公開

七ヶ浜町 七ヶ浜町は津波で流された写真や賞状など遺失物の公開を始めた。多くの被災住民が展示場所のない」と語り、写真を大

同町高浦田浜の渡辺佐代子さん(80)は膨大な遺失物から孫娘の七五三の記念写真を発見した。「家族は無事だったが、家族の形もなくなった。お金はないけれども何とかするが、思い出はそうはいかない」と語り、写真を大

宮城県内で観測した放射線量(2日)

測定地点	測定値
東北電力本店ビル前(仙台市)	0.11
山元町役場付近	0.22
大河原町役場付近	0.28
東北電力女川原発	0.52

最大の値は0.28マイクロシーベルト。女川除く県内、東北電力は2日観測した県内各地の放射線量を発表した。通常でも比較的高い数値を示す女川原発(女川町、石巻市)を除くと、最大値は大河原町役場付近で1時間0.28マイクロシーベルト。県によると、この値は10日間継続して浴びても屋内退避基準(1平方メートルの約1500

集団避難の小中学生 最寄り校での受け入れ検討
登米市教委は市内の旧鱒淵小と旧嵯峨立小に集団避難する南三陸町の小中学生を、避難先の最寄